

## 平成31年度 新宿区立牛込第二中学校 学校経営方針

本校は、「チーム牛二中」として教職員一丸となり教育活動を続けてきたことにより、現在は安定した状況を維持することができています。しかし、この安定した状況を今後も維持していくためには、日常の教育活動で「計画・実施・評価・改善」を行ない、常に危機感を持ち、様々な課題に適正かつ迅速に対応していく必要があります。特に、生徒指導に関する情報の共有化の徹底を図らなければなりません。本年度も、30年度の成果をもとに、組織的・計画的に生徒の指導にあたり、生徒の主体性を高め、生徒一人ひとりのもつ力を最大限に引き出す教育活動を行うことが重要です。

本校の教育目標は「知徳体」のバランスのとれた生徒の育成を掲げています。この教育目標を具現化するために「チーム牛二中」として全教職員の協働のもと、生徒たちに「生きる力」を育てる教育活動を実践していきましょう。

また、家庭・地域との連携をさらに深め、地域協働学校として「家庭・地域の信頼に応える学校」を共に創り上げていきましょう。

### 1 教育目標

人間尊重の精神を基盤として、知性、感性及び道徳性に富み生涯を通して主体的に学ぶ生徒の育成を願って

- ・自ら学び、考え、行動する人
- ・思いやりと責任感のある人
- ・健康で心豊かな人

### 2 目指す生徒像

#### ◎自ら学び、考え、行動する人

- 目標を持ち、向上心を忘れず、主体的に学び続ける生徒 <確かな学力>

#### ◎思いやりと責任感のある人

- 感謝の気持ちを忘れず、最後まで責任を持ちやり遂げる生徒 <誠実な心>

#### ◎健康で心豊かな人

- 進んで心身を鍛え、逞しく生き抜く力を身につける生徒 <健やかな身体>

### 3 目指す学校像

◎安心安全で、厳しさの中にも心温まる活気に満ちあふれた学校

◎生徒の能力を伸ばし、感動を与え、自信と誇りをもたせる学校

◎学校・保護者・地域との連携を深め、信頼に応える学校

### 4 目指す教職員像

◎心身ともに健康で明るく、「チーム牛二中」の一員として協働できる教職員

◎使命感を持ち、研修に励み、専門性の向上に努める教職員

◎生徒・保護者・地域から信頼される教職員

### 5 目指す授業像

◎生徒一人ひとりの理解度に応じたきめ細やかな指導を行う授業

◎生徒の意欲を引き出し、伸ばす授業

◎学び方を学び、生徒自ら課題を解決できる授業

## 6 学校経営の基本方針

- 「確かな学力・誠実な心・健やかな身体」の調和のとれた生徒の育成に努める。
- 「チーム牛二中」として目的・目標を共有化し、全教職員の協働による組織的な学校運営を実践する。
- 安全で安心して学べる環境を確保し、生徒・保護者・地域から信頼される学校をつくる。

### (1) 「確かな学力・誠実な心・健やかな身体」の調和のとれた生徒の育成。

#### ① 確かな学力の定着

- ・「想像する力」「挑戦する力」「伝える力」「発見する力」「振り返る力」の5つの力を身に付けることを共通目標とし、創意工夫した実践を行う。
- ・読書活動を推進するとともに、すべての教育活動において「言語活動の充実」を図り、思考力、判断力、表現力を育成する。
- ・ユニバーサルデザインの視点を生かし、ICT機器を活用した授業の工夫改善を進める。その際、生徒自らがICT機器を活用し「学び・考え・伝える」学習活動を行う。
- ・幅広い体験学習を充実させ、豊かな人間性や価値観の形成及び課題発見や課題解決能力の育成を図る。
- ・キャリア教育を推進し、自己理解を深めさせ、主体的に進路を選択・判断できる能力を育成する。
- ・新宿区学力定着度調査等の結果を分析し、授業改善と教育活動の検証に取り組む。
- ・ボランティア等を活用した放課後学習支援を計画的に実施し、基礎学力の向上を図る。

#### ② 心を育てる教育の推進

- ・「あじみこし」を意識した生活態度の育成を図る。
- ・「特別な教科 道徳」の授業の充実を図るとともに、全教育活動を通して道徳的視点に立った教育活動を実践し、自他を尊重することができ、思いやりをもつ生徒の育成に努める。
- ・生徒会活動・学級での係活動・部活動などの協働作業における自治活動の推進を図り、生徒が自他の特性を認め、お互いに成長できるよう努める。
- ・「あいさつ運動」「ありがとう運動」を推進し、学校生活を通して、生徒の社会性や感謝する心の育成を図る。
- ・オリンピック・パラリンピック教育を通し、「ボランティアマインド」「障害者理解」「スポーツ志向」「日本人としての自覚と誇り」「豊かな国際感覚」の5つの資質を伸ばす。
- ・特別支援コーディネーターを中心とした組織的な支援体制を充実させるとともに、「学びの学級」を積極的に活用し特別支援教育の推進を図る。

#### ③ 健やかな身体を育てる教育の推進

- ・ダブルダッチを活用し運動への関心を高めるとともに、運動の日常化を推進し体力の向上を図る。
- ・給食の時間、家庭科の授業や食育講演会等を通して、バランスのとれた食習慣を身につけさせる「食育」を推進する。
- ・学校安全指導計画に基づいた「安全教育」の充実を図る。

## (2) 「チーム牛二中」としての組織的な学校運営

### ① 教職員個々の主体性が生かされる組織運営

- ・教育活動及び教育環境充実のため、提案・実践が主体的に行われるよう「報告・連絡相談」を意識した組織運営を行う。

### ② お互いに学びあい、高めあう教職員集団

- ・教職員がもてるノウハウを共有するとともに、互いに切磋琢磨し、個々の資質向上を図りより良い教育活動の実践に結び付ける。

### ③ 誇りのもてる牛二中の教育の創造

- ・学校評価を活用し、課題と成果の共有を図る。また、学校関係者の学校への主体的なかわりを促し、教育活動の改善に取り組んでいく。

### ④ チームとしての生徒指導

#### ○生徒理解と信頼関係による指導

- ・目の前の生徒の理解を基盤とし、共通理解と共通実践を基本に指導にあたる。
- ・日々の活動、実践を通して、信頼関係を構築することを大切にする。
- ・生徒の気になる様子等については、保護者等に連絡するとともに、連携・協力して指導にあたる。
- ・「hyper-QU」を活用し、生徒理解を深め、学級経営、学年経営の一層の充実を図る。

#### ○生徒が取り組む過程を評価

- ・生徒には失敗したことから学ばせ、次の機会に活かせるように指導していく。
- ・結果だけではなく、生徒の取り組んだ過程（プロセス）を適切に評価する。生徒の創意工夫や継続的な取り組みなどを大切にする。

#### ○自信と自覚を深める指導

- ・生徒に困難を乗り越えること、課題を克服していくことで自信と自覚を深めさせる。

#### ○義務教育最後の3年間を担当するという使命感をもった取り組み

- ・一社会人として卒業する生徒が身に付けるべき資質とは何かを考え、各教科や教育活動を通して、人を育てることの使命感をもって指導にあたる。

## (3) 安全で安心して学べ、生徒・保護者・地域から信頼される学校

### ① 当面する教育課題への対応

- ・「牛込二中はいじめを許さない」という共通認識のもと、いじめが発生した場合は「いじめ対策委員会」など学校組織として対応する。
- ・第1学年では、中学生と地域が連携した防災訓練を、第2学年では、サイバー犯罪を、第3学年では薬物をテーマにした学習の場を設け、計画的に安全教育の充実を図る。
- ・第1学年では、情報モラル教育出前講座を活用し、ネット社会における適切な対応のあり方について学習を深める。
- ・ソーシャルネットワークサービス（SNS）にかかわる課題、薬物乱用防止等、最新の状況を踏まえた適切な指導を行っていく。

### ② 地域協働学校としての取り組み〈地域が参画する学校運営〉

- ・地域協働学校として、学校運営や学校評価、学校支援活動についての協議を通し地域保護者の参画を促し、地域に根ざした教育活動の充実を進める。
- ・学校運営連絡協議会で、学校運営上の課題を共有し、改善に向けた具体的な取組を推進する

### ③ 信頼を高めるための取り組み

#### ○危機管理への対応

- ・校内における報告・連絡・相談を徹底する。
- ・問題行動には、迅速かつ組織的な対応を徹底する。
- ・食物アレルギー等、管理及びチェック体制を徹底し絶対に事故を起こさない。
- ・学校から保護者・地域等へ積極的に情報発信し、法令遵守（コンプライアンス）と説明責任を果たしていく。

#### ○教職員の服務規律の遵守

- ・体罰、セクハラ、飲酒運転、個人情報流出、その他信用失墜行為を厳に戒め、保護者や地域住民からの信頼を損なわないように留意する。

#### ○教育環境の整備・充実

- ・生徒が1日生活するという視点で教育環境の改善（整理整頓等）に取り組む。
- ・学校全体で適切な言語環境を整える。
- ・掲示物等については、その目的と適時性をとらえた内容となるよう工夫する。また人権保護・多様性尊重の視点に配慮する。
- ・教職員が最大の教育環境であることを常に意識した言動を徹底する。

#### ○学校として必要な情報の収集と適時性のある情報の発信

- ・学校の教育活動を円滑に進めるための情報収集と適時性のある情報発信を行い、学校の教育活動への安心感と信頼感を獲得する。

#### ○接遇の改善

- ・保護者や地域の方など、学校に寄せる気持ちを真摯に受け止め、誠実・丁寧な対応を行なう。

#### ○教職員の健康管理

- ・「働き方改革」を推進し、業務の効率化・定時退庁などを実践する。生徒の充実した教育活動には、教職員の健康が不可欠なことを認識させる。